

(仮)町民体育館計画 もっと慎重に

答 説明と意見聴取の場を
しっかり作る



岡崎 晋 議員

問 事業費53億円が独り歩きしている現状をどう考えるか。
町長 53億円は検討委員会がアンケート等を集約した規模に建築単価を乗じて算出したもので、今後精査していく。

問 町民体育館が本当に必要か町民の理解は十分でなく、あらゆる方法で対話し、その声をしっかり受止めた上で慎重に進めて欲しいがどうか。
都市整備課長 10月17日の黄金ホールでの住民説明会で意見聴取、必要なら機会を作って広報も利用し計画の意義を説明する場をしっかりと作る。

問 財政や町民の将来負担等を調査検討の結果、計画見送りもあるか。
町長 現在の計画地は農振農用地であり都市計画も変更が必要である。これらをクリアできず、また財政が厳しければ先延ばしがないとは言えない。現段階では計画通り進めたい。

台風6号の対応を問う



(仮)町民体育館計画地

問 8月6日の土砂災害警戒区域に対する避難指示発令が那覇市より3時間40分遅かった理由は何か。
総務課長 当時の雨量だけでなく土中に浸透した土壌雨量指数と浸透できずに表面を流れる表面雨量指数、その周囲の流域雨量指数などを気象台が総合的に勘案して発表しているものと考えている。

問 本町の対策本部で気象台のサイト「キキクル」を活用しているか。
総務課長 活用している。

問 本町の対策本部で気象台のサイト「キキクル」を活用しているか。
総務課長 活用している。

問 本町の土砂災害及び地滑り危険区域の面積と居住者はどうか。
総務課長 本町面積の16%で、約900世帯2000人が居住している。

問 特に危険な区域はどうか。
総務課長 12世帯34名である。

問 気象台の土砂災害警戒情報発令を待たずに、必要に応じて、また、エリアメールやHP・LINEで一斉に避難指示を出すのではなく、文字でなく個別に避難指示が対象住民に届くシステムをぜひ構築して欲しいがどうか。
総務課長 調査研究していく。

問 台風で故障した自治会の放送設備や防犯灯の修繕は従来の5割補助でなく、予算化して支援して欲しいがどうか。
総務課長 現行通りでいきたい。

問 本町の対策本部で気象台のサイト「キキクル」を活用しているか。
総務課長 活用している。